

報道発表資料

(6月1日米国発報道発表資料 抄訳)

2009年6月4日

スウェーデンのエレクトロラックス社、GXS Trading Grid®により、運送業者との業務最適化を実現

-GXSは運送業者とエレクトロラックス社の輸送管理システムを統合し、
運送業務の80%以上の自動化に成功-

2009年6月1日メリーランド州ゲーサーズバーグ発—世界最大手の企業間電子商取引(B2B)ソリューション プロバイダーである米 GXS, Inc.(本社:米メリーランド州、以下 GXS)は本日、家電機器および業務用機器の世界的な大手メーカーであるスウェーデンのエレクトロラックス社が、GXS Trading Grid サービスのひとつである GXS Logistics Visibility の GXS Logistics Network を導入したことを発表しました。エレクトロラックス社は、GXS Logistics Network を利用することで、同社と同社に関わる全米の運送業者ネットワークを統合し、業務の自動化による効率化を目的としています。エレクトロラックス社は北米7拠点に工場を有しており、その出荷業務の委託をめぐって200を超える運送業者が競い合っています。そのため同社では、運送業者との出荷業務の入札プロセスを自動化し、コスト削減と出荷リードタイムの短縮を実現する必要がありました。そこでGXSが、同社のお荷業務の80%以上に相当する運送業者とのデータのやり取りに対し、電子商取引プラットフォームの実装を行いました。

エレクトロラックス社は150カ国において、冷蔵機器、食器洗浄機、洗濯機、掃除機、厨房機器をはじめとする製品を毎年4,000万台以上販売しています。なかでも米国は最大の市場であり、米国を拠点とする小売業者および流通業者に正確かつタイミングよく製品を納入することが不可欠となります。そこで、入札プロセスを自動化し、一元管理することによってコストを削減し、荷物の発送計画やスケジューリングをより正確に実施できるよう検討を始めました。エレクトロラックス社は、運送業者に向けて電子商取引プラットフォームを迅速かつ簡単に実装することができるサービスプロバイダーを必要としており、その答えがGXS Trading Gridでした。また同社の既存システムであるOracle Transportation Management(OTM)との統合も必要としていました。現在では、エレクトロラックス社の運送業者は、GXSのソリューションを使用することで、EDI(電子データ交換)を介してロジスティクス業務に関わる情報を送受信できるようになりました。その受信されたトランザクションデータは、GXS Trading Gridにより、Oracle XML形式に変換され直接エレクトロラックス社のTMSに格納されます。

エレクトロラックス社のプログラム マネージャーであるWaldir Lopes(ウォルディール ロペス)氏は次のように述べています。「GXSソリューションが導入される以前は、運送業者の入札プロセスは手作業で行われており、煩雑で、負荷のかかる作業でした。GXSのサービスを導入したことで、当社が新たに導入した輸送業務自動化システムのTMSと入札プロセスとが統合され、コスト削減のみならず、物流ネットワークの効率化も実現することができました。さらに、物流ネットワーク上のデータの質が向上し、運送業者各社のパフォーマンス評価もできるようになりました。総じて、今回のプロジ

エレクトロラックス社は我々の目標を上回るものであり、我々は次のステップである物流プロセス全体の可視化と、さらに多くの帳票処理の自動化にも大いに期待しています。」

エレクトロラックス社が今回のプロジェクトに GXS を採用した理由は、GXS が GXS Trading Grid により、既に統合された運送業者とのグローバルネットワークを持ち、優れたグローバルなカスタマーサポートの提供、物流分野における GXS の持つ豊富な経験および知識、サプライチェーン可視化ツールの存在などを挙げています。今後、GXS Logistics Visibility の持つさらに多くの機能を活用し、同社のロジスティクスデータの質を向上させ、運送業者のパフォーマンスのより詳細な把握や出荷状況のリアルタイムな追跡も実現していく予定です。GXS では現在、エレクトロラックス社のすべての運送業者に対して、同社の電子的な物流ネットワークに接続すべく作業を行っています。

GXS のシニア プログラム マネージャーで、ロジスティクスのスペシャリストでもある John Anacleto (ジョン アナクレト) は次のように述べています。「GXS は、耐久消費財メーカーに対してエレクトロラックス社が行っているような業務の効率化を実施し、自社の物流ネットワークのパフォーマンスの最適化と向上を目指すことを提案します。エレクトロラックス社では現在、物流ネットワークを徹底的に自動化し、それによってネットワークを経由するデータの質を向上させ、運送業者の入札プロセスに関わるコストを削減することを目指しています。今後は、このネットワークを土台に、同社の物流業者の詳細なパフォーマンスをリアルタイムに把握して広範な分析を実施できるようにし、分析結果を基に必要に応じて各業者と連携してパフォーマンスの向上を図っていくことを計画しています。」

GXS のオンデマンド GXS Trading Grid の可視化ソリューションを使用することで、ユーザー企業やその世界各地の取引企業は、取引企業のネットワークおよびトランザクション、受注ライフサイクル、物流ネットワーク、在庫状況を含むサプライチェーンのあらゆるプロセスを、ウェブを介して簡単な操作で把握することができるようになります。また、絶えず変化する顧客の需要にも迅速に対応できるようになり、製品の適時提供とより緻密な販促計画によって販売業務の最適化も可能になります。さらに、動的な ETA (到着予定) 情報、顧客ステータス、注文と出荷の関連付け、サプライヤーのパフォーマンス レポートをはじめとする、輸送中の出荷物のあらゆるステータス情報をリアルタイムに完全に把握することができるようになります。

GXS について

GXS は、オンデマンド SCM (サプライチェーン・マネージメント)、B2B (企業間電子商取引) におけるリーディング プロバイダーです。米フォーチュン誌の「フォーチュン 500」社の 70% に当たる企業が、世界各国で GXS Trading Grid を採用し、サプライチェーン ネットワークの拡張、倉庫プロセスの自動化、電子決済管理、サプライチェーン可視化を行っています。GXS は、グローバル ネットワークを強みとし、全世界の取引先との連携支援、B2B アウトソーシングなどのサービスを通じて、サプライチェーンの活用とビジネスのためのインテグレーションを支援します。

GXS は米メリーランド州ゲーザースバーグに本社を置き、欧米、アジア太平洋、中東、アフリカにまたがるグローバルネットワークを展開しています。

GXS 株式会社は、米 GXS Inc. の 100% 出資による日本法人です。詳しくは Web サイト (<http://www.gxs.com/jp/>) をご覧ください。

本文中のすべての製品およびサービスは各社の商標です。

本件に関する報道関係のお問合せ先

GXS 株式会社 マーケティング

石黒 佐知子

Tel: 03-5574-7545

Email: gxs-pr@gxs.com